

令和3年度「沖縄型産業中核人材育成事業」

安全・安心な沖縄型ウェルネスツーリズムコーディネーターの育成プログラム

安全・安心な沖縄型ウェルネス ツーリズムコーディネーターについて

OKINAWA WELLNESS TOURISM COORDINATOR

GUIDANCE

沖縄県環境科学センター・南城市観光協会共同体

安全・安心な沖縄型ウェルネスツーリズム コーディネーターの育成プログラム

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大は、経済に打撃を与え、人々の日常生活や価値観を変え、移動の自由を阻み、ツーリズム産業の根幹を揺るがしています。今後、ワクチンや治療薬ができたとしても、歴史が示すように新興感染症の再来は避けられません。ウィズコロナ、アフターコロナで求められる観光地の選択基準として「安全・安心」が最上位価値となり、自由な移動・滞在の確保、顧客満足度にも関わる「観光衛生マネジメント」が必要不可欠となっています。

ウィズコロナ、アフターコロナの観光では、従来の観光からの脱却が求められていきます。その際、感染症予防は「対策」という言葉に想起される従来の守りの姿勢ではなく、むしろ、観光客との信頼関係につなげるチャンスととらえ、誘客や収益増につなげる攻めのマーケティングという発想で感染症対策の基本事項を把握し、実践する力を身につけることがこれからの観光関連従事者にとって不可欠です。本研修は、ニューノーマルな観光産業のデザインに向けて、これからの観光に量から質への転換の視点を醸成し、高い付加価値を創造するとともに新たな需要を生み出す起点としての観光衛生マネジメント能力等を養うものです。

目指すべき人材像に向けて必要な知識・技能

沖縄型ウェルネスツーリズムが、プレーヤーとされる観光関連事業者のみでなく、島嶼地域に根差し資源の活用と保全に熟知した地域（資源・人・コミュニティ）と直接結びつき、地域資源を「ウェルネス資源」という新しい価値として地域が協働で生み出していくことで、提供サービスの付加価値が高まり、生産性が向上します。また、地域の1次、2次産業関係者とのアライアンスにより収益の県外移転を抑制する課題解決にも通じます。

- 観光衛生マネジメントに関する知識
- 観光衛生マネジメントの具体的な手法および現場への適用に関する技能
- 沖縄および地域の観光の現状と課題の捉え方に関する知識・技能
- 観光の現状と課題を踏まえ、現実的かつ有効な観光資源の活用方法を見出す技能
- ウェルネスとSDGs(持続可能開発目標)の関係性に関する知識
- 地域の観光資源をウェルネス資源として捉え、SDGsの達成に寄与するウェルネスツーリズムを創出できる技能

研修の位置づけ

本研修では、人材育成の重要性に関する沖縄の産業全体の意識向上に寄与することを目的として、『内閣府特命担当大臣（沖縄及び北方対策）』が本事業の研修を修了した者に対して修了証を交付します。

研修の注意事項

以下に、研修の参加における注意事項を示します。

全編オンライン研修

今年度の研修は、新型コロナウイルスの感染拡大状況等を最大限考慮し、全編オンライン研修(Zoom)とします。

時間に余裕を持った対応

研修開始時刻の30分前より入室可能とします。
研修開始時刻に間に合うように、Zoomのシステムエラー等のチェックも含め時間に余裕を持って準備・ご入室ください。

資料等の取り扱い

本研修で配布されたテキストは他者へ配布したり、インターネットやSNS上にアップロードしたりしないようにお願いします。講義の録画等もご遠慮下さい。

欠席理由の報告

当日やむを得ず欠席する場合には、予め下記の担当者にご一報下さい。
また、後日補講記録動画による受講をお願いします。

「安全・安心な沖縄型ウェルネスツーリズムコーディネーターの育成プログラム」事務局
E-MAIL wellness_office@okikanka.or.jp
TEL:098-875-5208/FAX 098-875-1943

概要

本研修は、研修の全体説明（ガイダンス）および全15回の講義で構成されます（全7日間）。

研修方式	— 全編Zoomを使ったオンライン研修（やむを得ない欠席の場合、記録動画による補講が可能です）
研修日程	— 全15回／合計7日間開催（2021年10月22日～12月14日）

<研修日時>

日時	講義回	研修テーマ
10月22日（金） 13:00～16:00	- 第1回	研修の全体説明（ガイダンス） ウェルネスツーリズム概論
11月5日（金） 9:00～17:00	第2回 第3回 第4回	ウェルネスツーリズムと安全・安心・衛生対策（1） ウェルネスツーリズムと安全・安心・衛生対策（2） 安全・安心・衛生対策フィールドワーク
11月12日（金） 9:00～17:00	第5回 第6回 第7回	ウェルネスツーリズムと持続可能な自然・環境共生（1） ウェルネスツーリズムと持続可能な自然・環境共生（2） 持続可能な自然・環境共生フィールドワーク
11月19日（金） 9:00～17:00	第8回 第9回 第10回	ウェルネスツーリズムと持続可能な地域・社会・歴史文化（1） ウェルネスツーリズムと持続可能な地域・社会・歴史文化（2） 持続可能な地域・社会・歴史文化フィールドワーク
12月3日（金） 9:00～17:00	第11回 第12回 第13回	ウェルネスツーリズムと持続可能な経済・ビジネスモデル（1） ウェルネスツーリズムと持続可能な経済・ビジネスモデル（2） 持続可能な経済・ビジネスモデルフィールドワーク
12月6日（月） 13:00～17:00	第14回	持続可能なウェルネスツーリズム 事業企画提案グループワークⅠ
12月14日（火） 13:00～17:00	第15回	持続可能なウェルネスツーリズム 事業企画提案グループワークⅡ

オンライン研修の準備

1. はじめに

本研修をオンラインで受講するための基本的なZoomの使用方法を概説します。

研修参加においては、受講生各自の責任でZoomミーティングへ円滑に参加できるよう、準備や操作方法の予習を行ってください。

※Zoomミーティングへの参加における詳細な手順・操作方法・トラブルの解消方法については各自でお調べ下さい。

2. Zoomのご案内

事務局より、毎回オンライン研修用のメールが届きます。

Zoomのアプリケーションをお持ちでない方は、Zoomのホームページより内容を確認し、事前にアプリケーションのインストールをしていただきご準備をお願いいたします。

3. Zoomが立ち上がる

メールのURLをクリックしていただくと自動的にZoomアプリケーションとミーティングへの参加ウィンドウが開くので、

【団体名・苗字】とパスコードを入力します。

※事務局が受講生の出席確認をしますので、必ず【団体名・苗字】を入力してください。

4. ミーティングに参加する

ホスト（事務局）が参加を許可するまで、しばらくお待ちください。

ホスト（事務局）が参加を許可すると、研修に入場できます。

<注意事項>

- Zoomにログインした状態で、参加（入室）してください。
- ビデオをオンにして、顔が見える形で参加してください。
- 発言時以外は、マイクをミュートにしてください。
- クリアな音声で会話ができるよう、ヘッドセット（イヤホンマイク）の使用、静かな場所で参加するなど、周囲の雑音への配慮をお願いします。
- Wi-Fiなど高速通信が可能な環境でご参加ください。
- Zoomアプリケーションが最新版にアップデートされていることをご確認ください。
※古いバージョンでは機能が制限されて、研修に支障が生じる場合があります。

記録動画による補講

補講の対象

冠婚葬祭、病気等に加え、新型コロナウイルス感染症の影響等に関連するやむを得ない業務上の理由等で当日の研修に参加できない場合には、記録動画の閲覧による補講を認めます。

欠席理由の報告

当日の研修を欠席する場合には、予め事務局にその理由とともにご連絡ください。

補講の案内メール

記録動画を閲覧するアドレスについては、当日の研修への参加の有無によらず、研修の翌日中を目途に受講生のメーリングリストで一斉送信します。当日不参加の方の補講だけでなく、当日参加者の復習にもご活用ください。

閲覧可能期間

記録動画の閲覧可能期間は原則として次回の研修日（最終の第15回目については一週間後までとします。）

注意事項

受講生以外の記録動画の閲覧は、ご遠慮ください。
また、記録動画を撮影・保存することもご遠慮ください。

修了証交付基準

研修開始前のレポート・アンケートを提出すること

研修前の受講者の意識調査等のためのレポート・アンケートの提出を求めます。

全ての研修に参加し、レポート・アンケートを提出すること

- ◎予定されている全15回（7日間）の研修に参加する必要があります。
- ◎新型コロナウイルス感染症対策の一環として、全てオンラインでの受講です。
ただし、映像で受講者の顔を確認するなど、受講状況が把握できることを求めます。
- ◎病気や冠婚葬祭、コロナショックの影響に伴う業務上の都合等など、やむを得ない理由により当日受講できない場合には、特別の措置として記録動画の閲覧による補講を認めます。
- ◎受講者自身および事務局が研修の理解度等を把握することを目的として、当日受講者および記録動画補講者ともに、所定様式に基づくレポート・アンケートの提出を求めます。

グループワークに関する課題を提出すること

第14～15回のグループワークに向けて各自ウェルネスツーリズムに関する企画提案の課題を制作し、第15回の終了後速やかに提出することを求めます。

研修後のレポート・アンケートを提出し、レポートの理解度評価が6割以上であること

- ◎研修後の受講者の理解度評価、意識調査等のためのレポート・アンケートの提出を求めます。
- ◎レポートについては、受講生の本研修内容に対する理解度を評価し、その理解度が6割以上であることを求めます。

修了証交付のために必要な提出物

研修開始前／受講者等の意識調査などのためのレポート・アンケート（1回）

提出期限：10月21日(木)

講義日ごと／レポート・アンケート（計7回）

提出期限：講義日ごとのレポート・アンケートに期限を示します

※記録動画による補講の期限も併記します

第15回講義後／集大成としてのウェルネスツーリズムの事業プランとなる企画書

提出期限：12月21日(火)

全研修終了後（第15回講義後）／受講者等の意識調査、理解度評価のためのレポート・アンケート（1回）

提出期限：12月21日(火)

カリキュラム開発の背景

本研修のカリキュラム開発の背景には、沖縄観光が策定する次期基本計画「第6次沖縄県観光振興基本計画」(素案)があります。具体的には、同計画に掲げられた目指す将来像「世界から選ばれる持続可能な観光地」、将来像に向けた「持続可能な観光地域づくりの追求」に基づき、『社会』、『経済』、『環境』の調和が取れた沖縄観光の実現、持続可能な観光地域づくりの追求に取り組む県の将来方針に合致した研修内容としています。

座学 計9回	第1回 ウェルネスツーリズム概論 第2回 ウェルネスツーリズムと安全・安心・衛生対策(1) 第3回 ウェルネスツーリズムと安全・安心・衛生対策(2) 第5回 ウェルネスツーリズムと持続可能な自然・環境共生(1) 第6回 ウェルネスツーリズムと持続可能な自然・環境共生(2) 第8回 ウェルネスツーリズムと持続可能な地域・社会・歴史文化(1) 第9回 ウェルネスツーリズムと持続可能な地域・社会・歴史文化(2) 第11回 ウェルネスツーリズムと持続可能な経済・ビジネスモデル(1) 第12回 ウェルネスツーリズムと持続可能な経済・ビジネスモデル(2)
フィールドワーク 計4回	第4回 安全・安心・衛生対策フィールドワーク 第7回 持続可能な自然・環境共生フィールドワーク 第10回 持続可能な地域・社会・歴史文化フィールドワーク 第13回 持続可能な経済・ビジネスモデルフィールドワーク
グループワーク 計2回	第14回 持続可能なウェルネスツーリズム 事業企画提案グループワークⅠ 第15回 持続可能なウェルネスツーリズム 事業企画提案グループワークⅡ

各講義形態のタイムスケジュール(予定)

座学 — 15回中9回行う座学のタイムスケジュールは、以下の通りです。

<座学：タイムスケジュール/1日2講義> ※計9回講義

座学① 60分	講義	講義に対する質疑応答	
	40分	20分	
休憩(30分)			
座学② 90分	講義	講義に対する質疑応答	レポート作成に関する質疑応答
	50分	20分	20分

フィールドワーク — 15回中4回行うフィールドワークのタイムスケジュールは、以下の通りです。

※今年度の研修は全編オンラインで行うため、一般的なフィールドワークのイメージとは異なることをご了承ください。

<フィールドワーク：タイムスケジュール/1日1講義> ※計4回講義

フィールドワーク 180分	前半 90分	各講師による実務的講義		講義に対する質疑応答	
		40分		20分	
	フリーセッション 30分 ※				
	後半 90分	最終課題制作に関わるミニ講義	ミニ講義の内容を踏まえたグループワーク	グループワークの結果発表・講師によるフィードバック	
15分		30分	30分		
レポート作成に関する質疑応答 15分					

※フリーセッション時は、講師との忌憚のない意見交換を想定しています(トイレ休憩可)。

グループワーク — 15回中2回行うグループワークのタイムスケジュールは、以下の通りです。

※今年度の研修は全編オンラインで行うため、一般的なグループワークのイメージとは異なることをご了承ください。

※グループワークの内容は第13回までの講義の状況を踏まえて、変更する可能性があります。

<グループワーク：タイムスケジュール/第14回目>

グループワークⅠ 240分	前半 120分	ミニ講義4回のおさらい	フリーセッション	最終課題に関するグループワークの説明	グループワーク
		30分	30分	15分	45分
	後半 120分	グループワーク発表		フリーセッション、レポート作成等に関する質疑応答	
		90分		30分	

※フリーセッション時は、講師との忌憚のない意見交換を想定しています(トイレ休憩可)。

<グループワーク：タイムスケジュール/第15回目>

グループワークⅡ 240分	前半 100分	各自課題の発表(前半)/講師による講評		発表内容等に関するフリーセッション	
		80分		20分	
	後半 140分	各自課題の発表(後半)/講師による講評	発表内容等に関するフリーセッション	総括/レポート作成等に関する質疑応答	
80分		20分	40分		

※フリーセッション時は、講師との忌憚のない意見交換を想定しています(トイレ休憩可)。

SDGsの「5つの主要原則」とウェルネスツーリズム コーディネーターの「8つの養成する力」

沖縄県の目指す将来像である「世界から選ばれる持続可能な観光地」、「持続可能な観光地域づくりの追求」の実現に資するため、日本政府が掲げるSDGsの「5つの主要原則」とウェルネスツーリズムコーディネーターの「8つの養成する力」を関連づけた研修内容としています。



日本政府が掲げるSDGsの「5つの主要原則」

日本政府は2016年12月22日、持続可能な開発目標（SDGs）実施指針を決定しました。政府が、関係府省一体となって、あらゆる分野のステークホルダーと連携しつつ、広範な施策や資源を効果的かつ一貫した形で動員していくことを可能にするために、「5つの主要原則」を定めています。

ウェルネスツーリズムコーディネーターの「8つの養成する力」

事業のカリキュラム開発目指す将来像「世界から選ばれる持続可能な観光地」、将来像に向けた「持続可能な観光地域づくりの追求」に基づき、「社会」、「経済」、「環境」の調和が取れた沖縄観光の実現、持続可能な観光地域づくりの追求に取り組む県の将来方針に合致した内容としています。

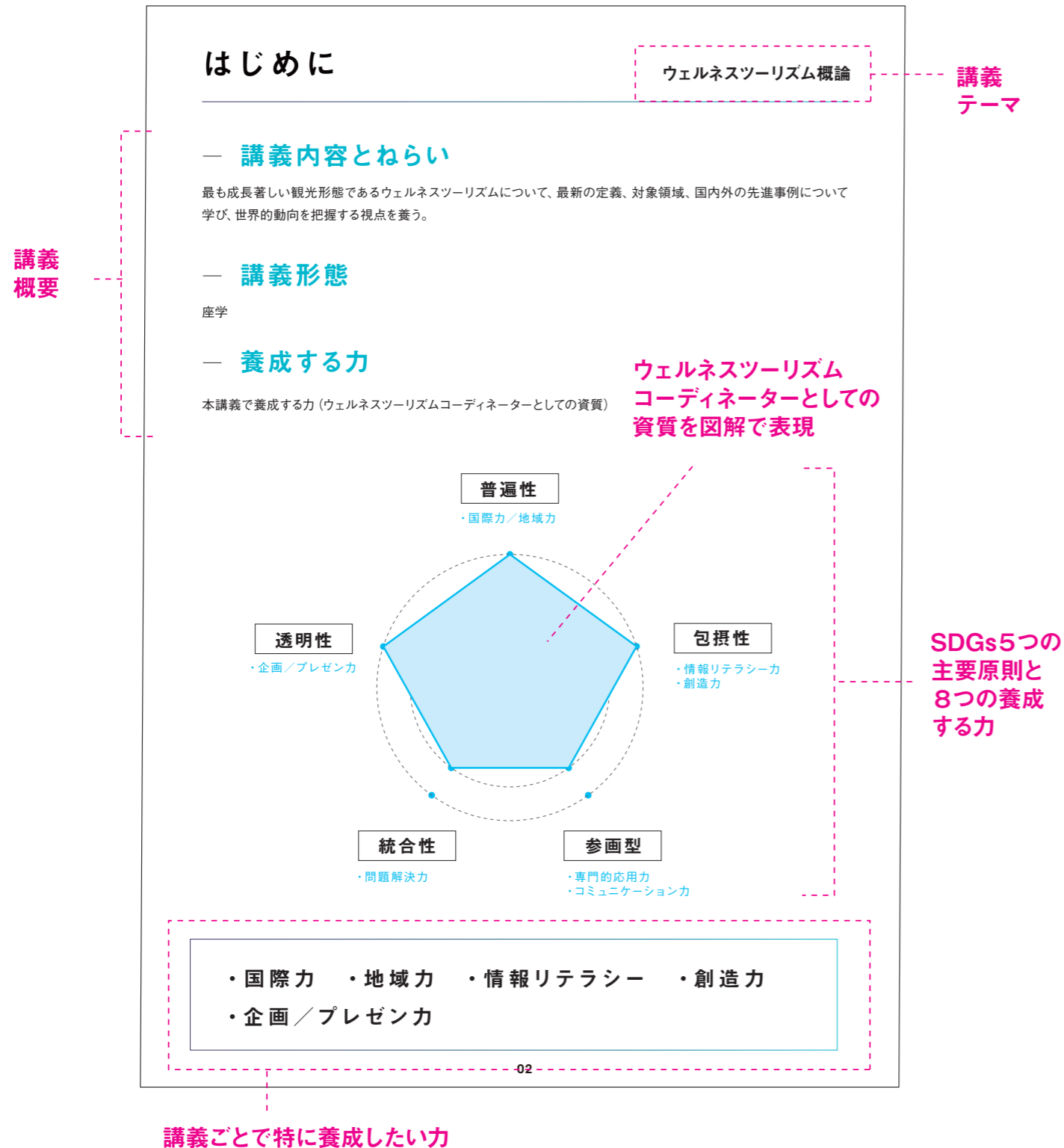
日本政府が掲げるSDGsの「5つの主要原則」	
普遍性	— 国内実施と国際協力の両面で率先して取り組む。
包摂性	— 人権の尊重とジェンダー平等の実現を目指し、脆弱な立場の人々まで誰一人取り残さない
参画型	— あらゆるステークホルダーの参画を重視し、全員参加型で取り組む。
統合性	— 経済・社会・環境の3分野の統合的解決の視点を持って取り組む。
透明性	— 取組状況を定期的に評価し、公表・説明する。

出典：持続可能な開発目標（SDGs）推進本部「持続可能な開発目標（SDGs）実施指標」

ウェルネスツーリズムコーディネーターの「8つの養成する力」	
国際力	— 取り組む課題に対し グローバルな視点 から考える力を醸成する。
地域力	— 取り組む課題に対し 地域に根ざした視点 から考える力を醸成する。
情報リテラシー力	— 取り組む課題に対し 複数の意見や情報リソースを吟味する視点 を醸成する
創造力	— 取り組む課題に対し 新しい価値を生み出す視点 を醸成する。
専門的応用力	— 取り組む課題に対し 自身の専門性を活かす応用的視点 を醸成する。
コミュニケーション力	— 取り組む課題に対し 協調性、アライアンスの視点 を醸成する。
問題解決力	— 取り組む課題を抽出し 問題解決の糸口を見出す視点 を醸成する。
企画／プレゼン力	— 取り組む課題に対し 魅力ある企画にまとめ、プレゼンできる力 を醸成する。

講義ごとの特性について

前ページで示したSDGsの「5つの主要原則」とウェルネスツーリズムコーディネーターの「8つの養成する力」をダイアグラムで図解化し、講義ごとに養成する力の特性を表現しています。



SDGsの「5つの主要原則」とウェルネスツーリズムコーディネーターの「8つの養成する力」の関係性

普遍性	— 国内実施と国際協力の両面で率先して取り組む。
国際力 地域力	— 取り組む課題に対し グローバルな視点 から考える力を醸成する。 — 取り組む課題に対し 地域に根ざした視点 から考える力を醸成する。
包摂性	— 人権の尊重とジェンダー平等の実現を目指し、脆弱な立場の人々まで誰一人取り残さない。
情報リテラシー力 創造力	— 取り組む課題に対し 複数の意見や情報リソースを吟味する視点 を醸成する。 — 取り組む課題に対し 新しい価値を生み出す視点 を醸成する。
参画型	— あらゆるステークホルダーの参画を重視し、全員参加型で取り組む。
専門的応用力 コミュニケーション力	— 取り組む課題に対し 自身の専門性を活かす応用的視点 を醸成する。 — 取り組む課題に対し 協調性、アライアンスの視点 を醸成する。
統合性	— 経済・社会・環境の3分野の統合的解決の視点を持って取り組む。
問題解決力	— 取り組む課題を 抽出し問題解決の糸口を見出す視点 を醸成する。
透明性	— 取組状況を定期的に評価し、公表・説明する。
企画/プレゼン力	— 取り組む課題に対し 魅力ある企画にまとめ、プレゼンできる力 を醸成する。

研修内容の構成について

本研修は「座学」、「フィールドワーク」、「グループワーク」の3つの講義形態で構成されています。

<講義形態>

座学 / フィールドワーク / グループワーク

<配布資料>

各日の講義日までに、下記の資料を受講生のメールリストにて配信します。
講義用テキストは、各講師が講義当日に提示する講義資料の補足となる「概要版」の位置付けとしています。

- 本研修の全体説明(ガイダンス)用資料(本資料)
- 第1回から13回までの講義用テキスト

▼講義用テキストイメージ



▼フィールドワーク対象場所



第1回

ウェルネスツーリズム概論

国立大学法人琉球大学国際地域創造学部 教授 荒川雅志 氏

10/22
金曜

講義形態 座学 講義時間 14:30 - 16:00

最も成長著しい観光形態であるウェルネスツーリズムについて、最新の定義、対象領域、国内外の先進事例について学び、世界的動向を把握する視点を養う。



プロフィール

国立大学法人琉球大学国際地域創造学部 教授 荒川雅志 氏

福岡大学大学院医学研究科社会医学系博士課程修了、医学博士。世界5大長寿地域「ブルーゾーン」沖縄100歳者のライフスタイル研究、ウェルネス研究、ウェルネスツーリズム研究開発の第一人者、海洋療法学者。『ウェルネスツーリズム～サードブレイスへの旅』『なぜ海は体にいいのか』ほか著書論文多数。

第2回

ウェルネスツーリズムと安全・安心・衛生対策(1)

兵庫県公立大学法人芸術文化観光専門職大学 准教授 高橋伸佳 氏

11/5
金曜

講義形態 座学 講義時間 09:00 - 10:00

コロナ禍であらゆるツーリズムに安全・安心衛生対策が必須かつ最上位課題となっている。
本講では「観光衛生マネジメント」の理論と実際を学ぶ。



プロフィール

兵庫県公立大学法人芸術文化観光専門職大学 准教授 高橋伸佳 氏

観光・旅行×医療・健康の融合による、健康社会の実現に向けた新たな領域・分野の創造を専門とする。

SARSの感染拡大時からトラベルメディスンの知見を応用した安心・安全な観光・旅行の研究、振興にも取り組んできた。

第3回

ウェルネスツーリズムと安全・安心・衛生対策(2)

一般財団法人沖縄県環境科学センター 生活科学部 微生物課 副参事 徳松安己彦 氏

講義形態 座学 講義時間 10:30 - 12:00

ツーリズムにおける安全・安心衛生対策には様々な現場に即した体制整備、管理運営、検査手法がある。
本講ではその主要な事例から学ぶ。



プロフィール

一般財団法人沖縄県環境科学センター 生活科学部 微生物課 副参事 徳松安己彦 氏

沖縄県内の学校給食、保育所施設の安全・安心作りに取り組んでいる。

長年にわたり、衛生管理指導、各種講演を行っている。

JFS-A/B 規格(セクター:E/L) 監査員研修コース修了/HACCP 指導者養成研修修了/FSSC22000 内部監査員養成研修修了

第4回

安全・安心・衛生対策フィールドワーク

講義形態 フィールドワーク/那覇市 講義時間 14:00 - 17:00

観光先進地と呼ばれる沖縄が実際にどのような安全・安心衛生対策の現状にあるか、
点検ポイントを踏まえて現場状況と講師との対話から学ぶ。



前半フィールドワーク：講師

徳松安己彦 氏

実務的講義/フリーセッション

後半フィールドワーク：グループワーク担当講師等

荒川雅志 氏/相澤和人 氏/事務局

最終課題制作に関わるミニ講義/グループワーク等

第5回

ウェルネスツーリズムと持続可能な自然・環境共生 (1)

株式会社ラグーン代表取締役／恩納村ダイビング協会理事 池野正一 氏

11/12
金曜

講義形態 座学 講義時間 09:00 - 10:00

内なる環境（健康）と外部環境、自然との共生を図るウェルネスツーリズムの理解促進のために、本講ではサステナブル（持続可能）をテーマにした国内外の事例から学ぶ。



プロフィール

株式会社ラグーン代表取締役／恩納村ダイビング協会理事 池野正一 氏

サンゴの村<恩納村>にて、本業のダイビングショップとともに恩納村漁業協同組合が行うサンゴ養殖と植付け、サンゴの大切さなどを一般に広める取り組みを行っている。

第6回

ウェルネスツーリズムと持続可能な自然・環境共生 (2)

恩納村農業環境コーディネーター 桐野龍 氏

講義形態 座学 講義時間 10:30 - 12:00

自然環境を「ウェルネス資源」としてどのように活かせるか、本講では健康癒し・気づきのウェルネスメニュー開発事業者の事例に学ぶ。



プロフィール

恩納村農業環境コーディネーター 桐野龍 氏

沖縄県に来て20年が経ち、お世話になった恩納村に何か恩返しができないか奮闘している。赤土&ハチミツおじさんとして、ミツバチを使って赤土流出防止とサンゴ保護に取り組む「ハニー&コーラルプロジェクト」を展開している。

第7回

持続可能な自然・環境共生フィールドワーク

講義形態 フィールドワーク／恩納村 講義時間 14:00 - 17:00

自然環境の保全と観光利用の両立を実践する事業者の現場状況と講師との対話から、沖縄の持続可能な観光のあり方を学ぶ。



前半フィールドワーク：講師

池野正一 氏
桐野龍 氏

実務的講義／
フリーセッション

後半フィールドワーク：グループワーク担当講師等

荒川雅志 氏／相澤和人 氏／事務局

最終課題制作に関わるミニ講義／グループワーク等

第8回

ウェルネスツーリズムと持続可能な地域・社会・歴史文化 (1)

イーストホームタウン沖縄株式会社 代表取締役 相澤和人 氏

11/19
金曜

講義形態 座学 講義時間 09:00 - 10:00

地域の歴史、文化、ライフスタイルをウェルネス資源として新しい価値を生み出し、体験メニューに活かす事例を事業者の視点から学ぶ。



プロフィール

イーストホームタウン沖縄株式会社 代表取締役 相澤和人 氏

大学卒業後、カナダナイアガラのガイドやディズニーランドのキャストとして働く。旅行業25年、インセンティブツアーを中心に営業、その後、地域に根差す観光まちづくりを通じて旅行商品を開発し、販売する。「医療」と「観光」、「教育」の3本柱で事業を展開する。

第9回

ウェルネスツーリズムと持続可能な地域・社会・歴史文化 (2)

株式会社南都 執行役員 ガンガラーの谷事業所長 高橋巧 氏

講義形態 座学 講義時間 10:30 - 12:00

地域住民の真正で生き活きた暮らしがウェルネスまちづくりに繋がり、誘客に成功する国内外の事例を観光地経営の視点から学ぶ。



プロフィール

株式会社南都 執行役員 ガンガラーの谷事業所長 高橋巧 氏

千葉県出身。琉球大学地理学教室卒。学生時代ワンゲル部に所属し、やんばる西表等の探検や国内外での登山カヤック等に取組む。2004年南都入社。2008年ガンガラーの谷再公開時に現状のガイドツアーを企画。その後はMICE企画等も牽引。2016年より現職。

第10回

持続可能な地域・社会・歴史文化フィールドワーク

講義形態 フィールドワーク／南城市 講義時間 14:00 - 17:00

県内市町村の一地域を対象に、観光に関わる行政、住民、関係団体等、ステークホルダーの関係性を整理、課題点を抽出する技能を養うため、現場状況と講師との対話から学ぶ。



前半フィールドワーク：講師

相澤和人 氏
高橋巧 氏

実務的講義／
フリーセッション

後半フィールドワーク：グループワーク担当講師等

荒川雅志 氏／相澤和人 氏／事務局

最終課題制作に関わるミニ講義／グループワーク等

第11回

ウェルネスツーリズムと持続可能な経済・ビジネスモデル (1)

一般社団法人トータルウェルネスプロジェクトオキナワ代表理事、
管理栄養士、健康運動指導士、琉球料理传承人 伊是名カエ 氏

12/3
金曜

講義形態 **座学** 講義時間 **09:00 - 10:00**

ウィズコロナ/アフターコロナで危機にあえぐ飲食業にウェルネスはどう生かせるか、
持続可能な飲食ビジネスのあり方について学ぶ。



プロフィール

一般社団法人トータルウェルネスプロジェクトオキナワ代表理事、
管理栄養士、健康運動指導士、琉球料理传承人 伊是名カエ 氏

「食」を通して、沖縄を元気に健康にをテーマに、料理&運動教室の運営、県産食材を活用したレシピ開発、企業や医療機関にて健康指導、
各種メディアで健康情報の発信、人材育成、食農教育を行うなど幅広い活動を行っている。

第12回

ウェルネスツーリズムと持続可能な経済・ビジネスモデル (2)

株式会社 星野リゾート 沖縄読谷事業所開業責任者・総支配人 澤田裕一 氏

講義形態 **座学** 講義時間 **10:30 - 12:00**

ウィズコロナ/アフターコロナで危機にあえぐ宿泊業にウェルネスはどう生かせるか、
持続可能な宿泊業のあり方について学ぶ。



プロフィール

株式会社 星野リゾート 沖縄読谷事業所開業責任者・総支配人 澤田裕一 氏

立教大学観光学部卒業。総合不動産業を経て2004年星野リゾート入社。2006年に星のやブランドマーケティングのディレクターとして従事。2010年「星のや軽井沢」の総支配人の後、「星のや竹富島」、「星のや富士」、「星のや東京」の開業責任者や総支配人を経て、2019年より「星のや沖縄」「バンタカフェ」を含む、沖縄読谷事業所の開業責任者・総支配人に就任。

第13回

持続可能な経済・ビジネスモデルフィールドワーク

講義形態 **フィールドワーク/北中城村** 講義時間 **14:00 - 17:00**

ウェルネスをビジネスチャンスと捉え、ウェルネスメニュー開発に着手する観光産業プレーヤーへの
現場状況と講師との対話から学ぶ。(宿泊業)。



プロフィール

株式会社EMウェルネスリゾート代表取締役兼総支配人 西淵泰 氏

宮城県出身。琉球大学農学研究所修士課程修了。
高校時代にEM技術を紹介した比嘉照夫著「地球を救う大変革」を読み感銘を受け琉球大学に進学。
2002年EM研究機構入社、EM技術を活用した農業や環境浄化の国内外の現場担当を務めた後、2015年からホテル事業を担当。
2019年よりEMウェルネスリゾート代表取締役兼総支配人に就任し、現在に至る。

前半フィールドワーク：講師

株式会社EMウェルネスリゾート代表取締役兼総支配人 西淵泰 氏

実務的講義/フリーセッション

後半フィールドワーク：グループワーク担当講師等

荒川雅志 氏/相澤和人 氏/事務局

最終課題制作に関わるミニ講義/グループワーク等

第14回

持続可能なウェルネスツーリズム 事業企画提案グループワークI

12/6
月曜

講義形態 **グループワーク** 講義時間 **13:00 - 17:00**

持続可能なウェルネスツーリズム事業プラン制作の課題に、参加者は少人数のグループに分かれ、
座学、フィールドワークで学んだ知識を生かした事業提案を制作する。

後半フィールドワーク：グループワーク担当講師等

荒川雅志 氏/相澤和人 氏/事務局

各自課題の発表/グループワーク/フリーセッション

第15回

持続可能なウェルネスツーリズム 事業企画提案グループワークII

12/14
火曜

講義形態 **グループワーク** 講義時間 **13:00 - 17:00**

持続可能なウェルネスツーリズム事業プランの企画提案を発表、識者らの採点ポイント、
講評をもとに総括を行う。

後半フィールドワーク：グループワーク担当講師等

荒川雅志 氏/相澤和人 氏/事務局

各自課題の発表/グループワーク/フリーセッション

お問い合わせ

「安全・安心な沖縄型ウェルネスツーリズムコーディネーターの育成プログラム」事務局
沖縄型産業中核人材育成事業 沖縄県環境科学センター・南城市観光協会共同体

E-MAIL : wellness_office@okikanka.or.jp

TEL : 098-875-5208 / FAX : 098-875-1943

※お問い合わせの際、「ウェルネスツーリズム」の件で問い合わせいただいた旨お伝えください。